

平成29度 事業所向け 放課後等デイサービス「にじいろキッズ」自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	3	3	広々とした通所生活介護事業所の横にあるため、狭く感じられることもあると思います。障害者支援施設にじいろの建物に併設しているので、他フロアー(体育館、リハビリ室等)を共用活用して支援しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	1		現在、常時1名の看護師が配置されているが、医療ケア児童が複数名利用される場合には2名体制にすれば安心安全に受け入れが出来るので、併設している診療所の看護師に応援を依頼しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1		車椅子での移動が出来るよう、バリアフリー化しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	3		毎日のミーティングで業務の確認、注意事項を周知しています。また、毎月1回キッズ会議を開催し、当月の運営内容、個別検討、今後の行事予定等を話し合い業務改善に取り組んでいます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		今年度より事業を開始し、アンケートを実施しました。意向を取り入れ今後の改善に取り入れていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	4	1	今年度からの取り組みであり、当事業団のホームページで公開していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	2	まずは、保護者からのご意見を参考に業務改善に取り組むとともに、第三者機関による評価も検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			職員の資質の向上のために、必要と思われる研修に参加する機会を設け、職員は意欲的に参加しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			連絡帳や送迎時等での情報共有、保護者との面談の中で子ども、保護者のニーズを聞き取り、フェイスシート作成し、会議を開いて個別支援計画書を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4		フェイスシートからアセスメントを取ったうえで、計画書を作成しています。アセスメントシートは、標準化したものを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			スタッフで打ち合わせを行い子どもの特性に配慮した計画を立案し、キッズ会議で決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			季節を感じられるような情操への配慮やイベントを通しての「ハート・らんど」利用者との交流や買い物実習等、社会性の取得など意義のある活動を計画しています。固定化しないために、子ども医療福祉センター、その他の機関の事例を参考に工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1		子どもに合った課題の設定を事前に検討し、臨機応変に対応して支援しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			日々の子どもの状況により、個別活動や集団活動を組み合わせ計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			支援開始前に職員間でのミーティングを実施し、当日の子どもの体調、支援の内容確認等の情報共有を行っています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		支援終了後に職員間でのミーティングを実施し、当日の子どもの体調、支援の内容等気付いた点の情報共有を行っています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			健康チェック表や申し送り帳への記録を取り、子どもの体調管理等把握に努めています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	3		定期的にモニタリングを実施し、計画書に沿った内容を実施しているか、見直しの必要性がないか確認しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	5		ガイドラインの内容を把握して支援出来るよう、研修会に参加し職員のスキルアップを図り、その上で複数を組み合わせて支援しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	2		児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1		学校送迎時や電話等での連携、体験利用時の連絡調整を行っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3		かかりつけの医療機関を把握し、保護者を通じて緊急時の連絡体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	7		現在は行っていませんが、今後必要性がある場合は対応します。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4	1	現在そのような事例はありませんが、情報提供が出来る体制を整えていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		こども医療福祉センターの訪問指導を受け、助言等を頂きました。今後も必要に応じて相談助言を頂く予定です。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	2	児童館等との交流は現時点では出来ていませんが、併設している通所生活介護利用者や施設入所者との交流を行っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	6	1	協議会には行政サイドからの依頼がないため参加していません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			送迎時に利用時の様子や体調等をお伝えしています。また連絡帳、場合によっては電話で、保護者と子どもの状態について情報の共有を図っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	4	保護者に対して家族支援として子どもの相談・助言を行っています。家族支援プログラムの支援は行っていません。今後、学校との連携の中で、必要なトレーニング等の支援を検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7		1	運営規程、利用者負担等については、契約時に説明するとともに、重要説明事項をキッズルーム内に掲示しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	5		相談等があれば看護師・保育士・機能訓練士・相談支援専門員等と連携し、適切な助言と支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	3	父母の会の活動はないが、夏祭り、文化祭、クリスマス会等にて保護者の方にも参加していただき交流の場を設けています。支援の要望があれば検討することも可能です。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見、改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			苦情については、苦情解決委員会の体制を整備しています。また苦情があった場合には、迅速かつ適切に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			開所後、年に2回程度、施設の広報誌で活動状況や、行事等の報告をお知らせをしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	8			職員・実習生には秘密保持の誓約書を取っています。個人情報に記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。また、個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定しています。パソコンのセキュリティ対応等適切な対応を行っています。ホームページやパンフレットの顔出しについては事前に了解頂いた方のみとさせていただきます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			毎日の送迎時や連絡帳にて意思の疎通、情報共有を行っています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2		にじいろ施設で、毎年秋に文化祭を開催し地域住民の方や施設関係者へ案内を行い施設開放している。そのイベントに通所生活介護と共同でバザー等を行っています。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		マニュアルを策定し職員に周知しています。保護者への周知は完全には出来ていません。今後、連絡帳にて随時報告を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	1		昨年は火災訓練を2回実施しました。今後も年2回の避難訓練を実施します。また非常災害に備えて、3日分の飲料水、食糧を備えています。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			虐待防止委員会、苦情処理委員会を設置しています。全職員が必ず年1回所内研修に参加することを義務づけています。また佐世保市等が開催する所外の虐待防止研修にも参加しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7		1	身体拘束については、説明をし同意を得たうえで3か月に1回毎の再検討会議を開催し、拘束の解除に向けた検討を実施していきます。放課後等デイサービス計画にも、記載をしていないが、別紙の同意書に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		保護者から事前にアレルギーの確認を行い対応しています。アレルギーがある場合には、医師の指示により対応しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			インシデント・アクシデント報告書に基づき、事例の共有をしています。

※ アンケート対象者8名中8名回答

※ 評価期間 平成29年7月10日から平成30年3月31日

総括：保護者の皆様からご協力頂きましたアンケートに比べ、職員からの回答が全般的に厳しい評価でした。これは、現在の職員が前向きに業務に取り組んでおり、利用される皆様が楽しく快適に過ごせるように常々考えている結果と考えます。これからも、また来たいと思って頂けるサービスを提供して行きます。今後とも「にじいろキッズ」の運営にご理解とご協力をお願い申し上げます。